

県庁不正経理 自民党、数で幕引きを図る

3月18日 第13回 不正経理調査特別委員会が開催されました。

議題

1. 新たな調査について
2. 改善策・再発防止策について
3. その他

川本さんは、2月18日に会派の議員に届けられた内部告発文書の調査とコンプライアンス推進本部及び委員会に関して質問しました。



1997年内部告発について「真摯に受け止め調査していれば、このような事態にならなかったと思う」と答弁をされた小宮総務部長に、「今回の内部告発とどう違うのか？」川本さんは質問しました

【小宮総務部長の答え】

97年は 私共が今回行いましたような調査そのものが無かった。

現知事の下、これだけの調査をいたしまして、36億位以上にものぼります不正を明らかにしたというような事実があって、その後の内部告発文書である。

告発文書の性格が違う

調査した上で出てきた内部告発文書だから、「調査がキチンと行われていない」という指摘として真摯に受け止めてほしいなあ。



内部告発で問題を指摘された総務部にコンプライアンス推進本部があるのは、客観的な調査ができるのか。また、内部告発などに対して信頼性の担保のある第三者の調査機関を作る必要性を川本さんは投げかけました。

ご指摘の点はよく理解いたします。コンプライアンス委員会で私共の方から説明し、いろいろと意見交換をさせていただく際には、非常に厳しく(中略)言っていたいております。そういった意味で、外部の目でやっていただいているというふうに理解しております。」

さらに、川本さんはじめ 民主・共産党から上がっていた参考人招致と、「不正経理調査特別委員会」(任期は3月31日まで)の継続について採決が行われました。

森田知事	否
堂本前知事	否
石渡副知事	否
外部監査委員	可
不正経理調査特別委員会の継続	否

否
否
否
可
否

数にものを言わせた自民党の
強行採決!!!



我が会派・民主党・公明党・共産党会派で 翌閉会日に4会派で委員会継続の議案提案をすることになりました。